日光市下水道事業経営健全化計画の実施状況（総括）

「日光市下水道事業経営健全化計画」は、「第2次日光市総合計画前期基本計画」及び「日光市生活排水処理構想」に定める下水道事業の将来像の実現を目指し、経営基盤を強化するため、「歳入の確保」及び「歳出の抑制」について、それぞれ目標を設定し、その達成に向けて取り組むべき課題を定めたものです。

計画期間（平成28年度から令和2年度まで）に取り組んだ結果について、公表いたします。

1 実施状況について

（1）具体的目標の達成状況

経営基盤を強化するために2つの具体的な目標を掲げ、「未達成」が1つ、「達成」が1つとなりました。

具体的目標	達成状況	目標値	実施状況
		実績値	
		目標値との差	
令和2年度末の過年度徴収率21.1%を目指します。	未達成	21.1	収納相談や訪問徴収を実施し、未収金の圧縮に努めましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により収納額が減額したため、目標値を下回りました。 なお、年度末未収額は計画期間を通して42百万円の減額（2年度末未収額 129百万円）となりました。
		14.5	
		△ 6.6	
令和2年度までに地方公営企業会計への移行を行います。	達成	-	平成28年度から固定資産の調査及び評価、帳簿価格の算定等を進め、令和2年度から地方公営企業会計に移行しました。
		-	
		-	

（2）各施策の達成状況

①下水道使用料の滞納整理と徴収率の向上

施策内容		28年度	29年度	30年度	元年度	2年度
過年度分の徴収率21.1%を目標とします。	目標値	18.6	19.2	19.8	20.4	21.1
	実績値	26.5	21.4	20.4	20.8	14.5
	差	7.9	2.2	0.6	0.4	△ 6.6
	達成状況	達成	達成	達成	達成	未達成
収納相談や訪問徴収を実施し、未収金の圧縮に努めましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により収納額が減額したため、目標値を下回りました。 今後も上水道と連携し、納付指導等により徴収率の向上に努めます。						

②水洗化の向上

施策内容		28年度	29年度	30年度	元年度	2年度
供用開始区域の下水道接続を促進し、水洗化率94.2%を目標とします。	目標値	93.4	93.6	93.8	94.0	94.2
	実績値	92.6	92.5	93.2	93.6	93.7
	差	△ 0.8	△ 1.1	△ 0.6	△ 0.4	△ 0.5
	達成状況	未達成	未達成	未達成	未達成	未達成
パンフレットの配布、広報等を通じて啓発活動を行い、新規接続者の増加を図りましたが、人口が減少する中で水洗化人口の減少率が高かったため、目標値を下回りました。 今後はより一層、普及、促進に努めます。						

③有収率の維持

施策内容		28年度	29年度	30年度	元年度	2年度
管渠の長寿命化対策の実施により不明水の減少に努め、有収率80%以上を目標とします。	目標値	80.0				
	実績値	80.4	78.9	80.7	72.1	76.3
	差	0.4	△ 1.1	0.7	△ 7.9	△ 3.7
	達成状況	達成	未達成	達成	未達成	未達成
マンホール補修等の工事を実施し、不明水の減少に努めたところ、計画期間中において目標値を2ヵ年達成、3ヵ年未達成となりました。 今後も、施設調査や補修等により、不明水対策に努めます。						

④適正な維持管理費の維持

施策内容		28年度	29年度	30年度	元年度	2年度
経費回収率〔使用料収入÷汚水処理費×100(%)〕を100%から110%で維持します。	目標値	100~110				
	実績値	101.0	96.3	85.1	87.0	80.9
	差	—	—	—	—	—
	達成状況	達成	未達成	未達成	未達成	未達成
使用料収入の減少及び汚水処理費が増加したため、目標値を下回りました。 今後はより一層、汚水処理費の抑制及び使用料収入の確保に努めます。						

2 今後の取組みについて

下水道事業を取り巻く経営環境は、今後の急速な人口減少等に伴う料金収入の減少や保有する施設の老朽化に伴う更新需要の増大など厳しさを増しており、不断の経営健全化の取組みが求められています。

今後、日光市生活排水処理構想及び下水道ストックマネジメント計画に基づく下水道施設の整備や老朽化した施設の修繕や改築を進めるため、日光市下水道事業経営戦略（計画期間：令和3年度から令和12年度まで）により、収入の確保や支出の抑制、建設改良事業の平準化を図り、経営基盤の強化に取り組んでいきます。